

“初期宇宙での構造形成と最初の元素”

The first light and the first heavy elements in the universe

教授 吉田 直紀 氏

(東京大学大学院理学系研究科、カブリ数物連携宇宙研究)

Prof. Naoki Yoshida

(Dept. of Physics, Univ. of Tokyo & Kavli Institute for the Physics and Mathematics of the Univers)

宇宙望遠鏡や地上大型望遠鏡を用いた観測により、宇宙137億年の進化の多くの部分が解明されてきました。最近では、宇宙創成後数億年という早期に存在した銀河やブラックホールが見つかり、初期宇宙の進化について新たな謎を提示しています。一方、マイクロ波背景放射の観測からは38万歳の頃の宇宙の様子が明らかになり、ab initio アプローチによる理論研究が可能になりました。宇宙最初の天体はどうやって生まれたのか、暗黒宇宙はいつ光に満たされたのか、銀河間に広がる重元素はどこで生成されたのか。

数値宇宙論と深宇宙探査で明らかにする初期宇宙進化について議論します。

Language: Japanese
(講演言語：日本)

2013年 1月 8日 (火) 15:30 -
於 理研RIBF棟大会議室

Contact: RIBF Nuclear Physics Seminar Organizer
npsoc@ribf.riken.jp
<http://ribf.riken.jp/~seminar/>